



令和4年度

宇小だより (9月号)

令和4年9月1日

かほく市立宇ノ気小学校

TEL 283-0014

校長 笹山 明夫



ホームページはこちら

2学期のスタートです



長かった夏休みが終わり、学校に児童の明るく元気な笑顔と声が戻ってきました。今日から2学期です。また、クラスのみならず一緒にがんばっていきましょう。

さて、今年の夏休みをふり返ってみると、全国的に集中豪雨などの災害に見舞われました。県内でも不安定な大気による大雨が発生し、多くの自治体で避難指示が出されました。土砂崩れや川の氾濫等による家屋や農作物の被害に遭われた皆様には心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。以前、災害は、「忘れた頃にやってくる」ので「万が一に備えて」訓練を実施するという意識であったように思います。しかしながら、この頃は、猛暑や局地的な大雨、台風、冬の大雪が頻発し、これらによる交通障害、人命や家屋・農産物への被害が珍しくなくなっています。今や災害は、「いつ起こってもおかしくない」ので「日頃から備えておく」必要性がある、という意識に変化してきているのではないのでしょうか。



学校は、いざとなれば地域の重要な避難拠点となります。実際に先日の豪雨において県内の自治体では、多くの小中学校において避難所が開設されました。緊急事態に備え、かほく市では、去る8月21日(日)午前7:00から防災無線放送を合図に、宇ノ気地区防災訓練が実施されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、住民の避難は中止となりましたが、避難所開設が行われました。本校においても、体育館を中心に、受付の手順確認、プライバシーに配慮したテントの設営、体調不良者のためのスペースやの確保など、様々な作業が行われました。市役所の地区防災担当、防災士、地区代表、消防関連などたくさんの方が参加されました。マニュアルに沿って準備が進められていく中で、さらに必要な物資、動線の修正等、見えてくるものがあり、参加された皆さんの真剣さが伝わってきました。まさに「備えあれば憂いなし」といったところです。

学校でも、毎月、火災や地震、水害などを想定した児童の避難訓練を実施するとともに、これらを想定した危機対応マニュアルも作成しています。学校教育において安全対策の比重は益々大きくなっています。それだけに一つ一つの訓練においては、危機感をしっかりと持って取り組む必要があります。

2学期のスタートにあたり、新型コロナウイルスの感染については、残念ながら収束を見通せない状況ですが、学校では、これからも感染拡大防止に向けた対策を、熱中症にも気を配りながら行っていきます。不自由な毎日が続きますが、今学期も何とぞご協力をお願いします。

コドモンの本格運用実施について

- ・9月より下記の通り運用しますので、ご理解の上ご利用と内容確認をお願いいたします。
- ①保護者からのご連絡は「欠席遅刻」のみ(朝8時半まで)となります。その後の緊急連絡やお問い合わせ等はこれまで通り、連絡帳か電話でお願いします。
- ②学校からの連絡は、お便り(電子媒体のみ)やお知らせ(予定や持ち物等)になります。

新型コロナ感染に関わる連絡について

- ・同居家族に風邪症状を有する方がいる場合は検査結果に関わらず、登校はお控えください。
- ・陽性者、濃厚接触者となった場合は、学校までご連絡をお願いします。
- ・自宅療養(待機)時には、オンライン授業を行いますので、タブレット端末の持ち帰りにご協力をお願いします。